



**道外行政視察
(島根県益田市)**
令和6年10月23日



益田市安田公民館前にて

地域自治組織の先進的な取り組みを実施している島根県益田市安田地区の安田地域づくり協議会を訪問し、その取り組み内容について説明を受けた。

これからの地域づくりは、住民一人ひとりが自ら住む地域を良くしようと考え、参加し、支え合う仕組みが求められている。

市の支援は、公民館に人員を配置し、希望する地域には、地域魅力化応援隊員

を配置している。

地域には、地域自治組織設立支援事業補助金を活用して公民館を設置した。

現時点で20地区で組織を設立しているが、担い手の高齢化や活動の硬直化などの課題も出てきた中で、若者世代を巻き込みながら事業を展開している。

安田地区は、人口3千3百77人、高齢化率約41%。組織体制は、理事会の下に三つの部会があり、経済部会は、地域の農産物、手作り品、食品加工などを生産販売する活動、福祉部会は、地域の困りごとを解決するための活動、環境部会は、安田地区の環境を整備し、伝統文化・史跡・遺跡を保存し、後世に伝えるための活動を実施している。

安心で安全に暮らせる地域の活動状況の説明を受け今後の幌延町のまちづくりの参考となった。

**道外行政視察
(島根県大田市)**
令和6年10月23日



大田市での視察風景

小さな拠点づくりの取組について

島根県大田市では、市内27地域にあるまちづくりセンターのエリアを単位として、住民が主体となり、それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりを推進している。

我々は人口も面積も異なる二つの地区がお互いに補い合って生まれいく新しい取り組みを視察した。

久利地区は人口1260人、高齢化率39・9%、大屋地区は人口267人、高齢化率

62・7%である。

大屋まちづくり推進委員会が平成21年に設立され、平成24年には久利まちづくり推進協議会がそれぞれ設立され、地域課題解決のため幅広い取り組みを展開し、令和3年両地区共同によるデマンド型自治会輸送の運行を開始し、同年8月久利・大屋地区小さな拠点推進協議会が設立された。移動手段の確保だけでなく、共通する課題に2地区で取り組んでいる。「生活交通の確保」「生活支援の環境整備」「助け合いネットワークの構築」の具体策を検討中であつたし、実践されていた。

年齢制限を撤廃し、土曜日・日曜日には、地域イベントにも運行のデマンドバス、手ごし隊おたすけ隊のボランティアグループによる草刈り活動を実施し、高齢者の生活支援を行うなど、両隊で昨年102件の実績がある。

広報活動では地域活動への参加促進ため、推進協の取り組みを掲載した瓦版を